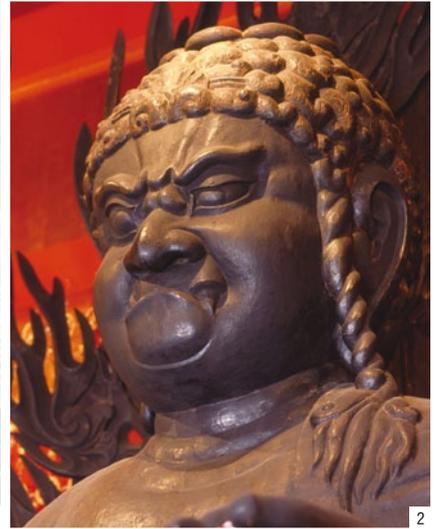


商工連プラザ

3月号
VOL.328
2016年(平成28年)3月1日

商工会は 行きます 聞きます 提案します



1. 50種類500本の梅が咲き競う／京王百草園 2. 重要文化財の不動明王像／高幡不動尊
3. オランウータンのスカイウォーク／多摩動物公園 4. 5月に開催される「ひの新選組まつり」

CONTENTS

- ② 東京と地方の共栄で真の地方創生を！
「東京都総合戦略」で議論
村越会長「多摩にもものづくり企業が起業できる拠点の整備を」と提言
第2回「東京の成長に向けた公労使会議」
- ③ 小規模事業者「事業承継支援の現場から」～親子間での事業承継～
課題は親子間の経営に対する意識の差や会社の在り方の共有
多摩・島しょ経営支援拠点
- ⑥ オール東京で「安全・安心な首都東京」を実現
中小企業のサイバーセキュリティ対策強化へ相互協力協定を締結
東京都・警視庁・都商工連など中小企業支援機関5団体
- ⑥ 多摩エリアの景況 27年度第3・四半期
- ⑤ 経営革新計画Part2「ALL HOME PAGE株式会社」
- ⑦ 私と商工会「東京乳母車」
- ⑧ 多摩・島しょ地域のイベント 4月～5月

日野市 Hino

日野市は人口18万人。都心から西に35kmと東京都のほぼ中心に位置し、市内には多摩川と浅川の2つの川が流れ、緑豊かな丘陵にも恵まれた都市です。ものづくり企業が多く立地する工業都市としての特性も持ち、東京都で2番目の工業製品出荷額を誇ります。市内を東西に甲州街道と川崎街道、JR中央線と京王線が走り、南北には多摩モノレールが通っています。

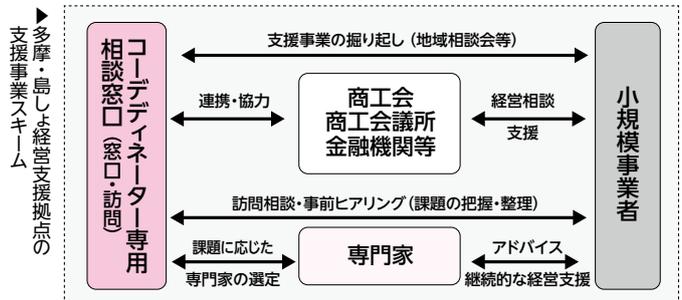
日野市は「新選組のふるさと」でもあります。副長の土方歳三や六番隊長の井上源三郎が生れ育った地であり、毎年5月には「ひの新選組まつり」が開催されます。夏は「ひのよさこい祭」、秋には「産業まつり」、「たかはた・もみじ灯路」、冬は市内各所で施されるイルミネーションなど、四季を彩るイベントが充実しています。また、高幡不動尊や日野宿本陣、新選組のふるさと歴史館、多摩動物公園、京王百草園などの観光スポットがあり、年間を通じて多くの人が訪れています。

編集／発行 東京都商工会連合会

現場から 小規模事業者 事業承継支援

～親子間での事業承継～

多摩・島しょ経営支援拠点



▶多摩・島しょ経営支援拠点の支援事業スキーム

東京都商工会連合会が昨年4月に、小規模事業者の事業承継の支援を目的に「多摩・島しょ経営支援拠点(以下、「拠点」)」を開設してから、約1年が経過しました。そこで「小規模事業者 事業承継支援の現場から」というテーマで、この間に「拠点」がどのような支援を行ったか、どんな課題が見つかったかなど、事業承継に悩んでいる小規模事業者の参考になるような事例を紹介いたします。今回は「親子間での事業承継」です。

■親から子への承継でも支援が有効

今回の事例では、製造業を営む現社長の父親(70歳)が数年前に体調を崩して、急きよ、後継者である子息(41歳)が会社の運営を手伝ったことが「拠点」への相談のきっかけでした。後継者は、経営に携わっていない

かつたため、取引先とのやり取りや資金繰りなどが全く分からず、苦労されたそうです。現在は社長が復帰していますが、今後を見据え「事業を承継していくための準備を行いたい」との相談がありました。

■最初にコーディネーターが課題を整理して専門家が支援

相談の内容は、「事業承継をどのように進めたらよいか」といったザックリとしたものでした。まずコーディネーターがヒアリングを行って、課題を整理した上で承継の時期を5年後とし、後継者の育成を重点に支援していくことになりました。

支援では、課題解決ができる専門性を持ち小規模事業者の実態を熟知した専門家を派遣し、経営者にはどんな視点が必要か、自分の会社はどんな会社なのかを後継者に考えてもらうことからスタートしました。

■課題は親子間の経営に対する意識の差

支援を進めていく中で明らかに変わったのは、親子間における考え方の違いです。現社長は、今まで事業を継続してきた実績に基づく独自の理論があり、その考え方を後継者に引き継ぎたいという思いがありました。しかし、後継者にはそれがなかなか伝わらず、その結果、後継者の経営者としての資質に不安を抱くようになりました。

ここで考えていただきたいのは、親子であってもそれぞれが別の人格であり、事業に対する考え方が全く違うことです。「親ができるから子もできる」、「子供だから分かるはず」といった考え方で話を進めても平行線です。まずは引継ぎ側も引き継がれる側も、お互いが別の人格であることを理解し、尊重することが前提になります。

■会社の在り方を共有することがポイント

事業を引き継ぐ際に最も重要なのは、会社としての方針や在り方を共有することです。これは一般的に経営理念と言われるものです。しかし、経営理念を明確にしている小規模事業者は多くはありません。相談者の場合も、社長の頭の中だけにあり、明確に示されてはいませんでした。

会社は何のために活動するのか、会社をどの方向に進めていくのか、を明確にして共有することで、個々の考え方に違いはあったとしても会社としての方向性を同じ視点で捉えていくことが可能になります。

■第三者としての専門家のアドバイスが有効

現在も、コーディネーターや専門家が、現社長と後継者それぞれの考えを聞き、また両者を交えて考え方のすり合わせを行い、会社の方向性をより明確なものにしていくための支援を行っています。また後継者

に対し「小規模企業の経営とは何か」についても分かりやすくお伝えしています。

親子間の意識のズレの問題を解決するには、第三者であり、経営支援に専門的なノウハウを持つ専門家を活用することが有効な方法といえます。

また、支援にはコーディネーターも同席し、相談者と専門家のやり取りを客観的に見ながら、専門家に対して、説明の補足や例示を求めするなど、理解を深めるための調整を行っています。

■お気軽にご相談ください

「拠点」では、多摩と島しょ地域の小規模事業者の皆さまの事業承継や事業の継続に向けた個別のご相談に応じています。専属のコーディネーターと専門家(最大12回派遣可能)が寄り添う形でアドバイスさせていただきます。お気軽にご相談ください。

(☎)042-5000-2271

日本公庫 都内で初めて

小規模事業者 経営発達支援資金を融資

三鷹商工会と連携し、小規模事業者の持続的発展を支援

日本政策金融公庫(日本公庫)三鷹支店は三鷹商工会(佐藤文典会長)と連携し、三鷹市内の2事業者に「小規模事業者経営発達支援資金」の融資を行いました。同資金の融資は東京都内では初めてです。設備投資に伴う運転資金として、それぞれ200万円、780万円を融資しました。

小規模事業者経営発達支援資金は、「経営発達支援計画」の認定を受けた商工会、商工会議所による事業計画の策定・実施の支援を受けた小規模事業者を対象とする融資制度です。今回の融資は三鷹商工会の経営発達支援計画に基づいて持続的発展に取り組んでいる2事業者に対して行われました。三鷹商工会は2015年11月に、都内の商工会では初めて経営発達支援計画の認定を国から受けています。

東京五輪・パラリンピック開催に向け、 観光・産業の両面で「多摩・島しょ」をアピール 3年ぶりに 都商工連賀詞交歓会

多摩を新しいものづくりが芽生える地域として
世界に発信する仕掛け作りを!

東京都商工会連合会(都商工連)は1月29日、昭島市のフォレスト・イン昭和館で3年ぶりに新年賀詞交歓会を開きました。国会議員、都議会議員をはじめ、東京都、関東経済産業局、全国商工会連合会、商工会議所など関連機関から多数の来賓を迎えました。また27商工会からは会長、副会長、役員、事務局長などが出席し、合わせて200人を超す盛大な賀詞交歓会となりました。

交歓会は、新年を迎えた華やいだ雰囲気の中、鶴田和男都商工連副会長の開会の辞で始まりました。続いて主催者挨拶に立った村越政雄都商工連会長は、「小規模事業者の身近な支援機関として商工会の指導力を強化するとともに、地域の経済団体として、2020年の東京五輪・パラリンピックを多摩・島しょ地域の魅力を知ってもらう機会にする。大都市近郊ながら豊かな自然と利便性・安全性を備えた多摩地域を、観光と産業の両面でアピールしたい。新しいものづくりが芽生える地域として世界に発信できるように、インフラの整備や創業・起業の仕掛け作りを都や国に提案していく」と、新年への意欲を力強く語りました。

平成28年 新年賀詞交歓会 東京都商工会連合会



東京都商工会連合会の
賀詞交歓会▶

来賓挨拶では、関東経済産業局長、東京都産業労働局長が祝辞を述べ、続いて自由民主党、公明党、民主党の国会議員、都議会議員、多摩地域の市長らが登壇し、代表者がお祝いの言葉を述べました。

山本隆東京都産業労働局長は「3年後にラグビーW杯、4年後は東京五輪・パラリンピックがあり、これから4年間は世界の注目が東京に集まる。中小の力・技術を世界に発信するチャンス。都も大会関連の需要の情報はポータルサイトに集約して中小企業にも活用できるよう準備を進めている。今年も商工会と手を携えて東京の中小企業の振興・発展に力を尽くしたい」と、都商工連との連携をさらに深める考えを述べました。

来賓の祝辞後、山下奉也八丈町長の音頭で乾杯し、歓談に入りました。会場のあちこちで談笑の輪が広がりました。



◀村越都商工連会長



◀山本東京都産業労働局長

賀詞交歓会を開催

東京都商工会女性部連合会

新春講演会・新年賀詞交歓会
女性部全国大会慰労会を開催

東京都商工会女性部連合会は2月5日、立川市内のホテルで「新春講演会・新年賀詞交歓会・女性部全国大会慰労会」を開きました。女性部連合会会員約130人が出席、東京都商工会連合会から鶴田和男副会長、矢部要青年部連合会会長らが出席しました。

廣瀬可世子会長が昨年10月の女性部全国大会を振り返り、「とても評判が良かった。これは皆様が全国の会員を温かく「おもてなし」していただいたおかげ。お一人お一人にお礼をいいたい」と挨拶しました。また、鶴田副会長は「今、2020年の東京オリンピック開催をビジネスに活かす取り組みを始めている。是非、皆様方の力を貸していただきたい」と女性部への期待を述べました。

新春講演の演題は「落語で学ぶ相続・事業継承」。行政書士の木崎海洋氏が得意の落語を使って、難しい相続や事業継承の話を経妙・洒脱に、かつ分かりやすく解説しました。



◀挨拶する廣瀬会長

東京都商工会青年部連合会

矢部会長 「一つひとつの縁を大切に、
有意義な活動を」と呼びかけ

清原三鷹市長 「青年部は地域にとって
かけがえのない存在」とエール

東京都商工会青年部連合会は1月28日、三鷹市の三鷹産業プラザで新年賀詞交歓会・名刺交換会を開きました。来賓に、東京都商工会連合会から村越政雄会長、佐藤文典副会長、傳田純専務理事、廣瀬可世子同女性部連合会会長らを迎え、各商工会からは会員約100人が出席し、新年を祝いました。

交歓会では、矢部要会長が「今年はさる年、猿は「エン」とも読む。青年部の皆さんとの関わりを「縁」ととらえ、一つひとつの縁を大切に有意義な青年部活動を展開していきたい」と挨拶しました。続いて、村越会長が「先日、舛添知事に、縁に囲まれたインダストリアルパークを作り、小規模企業を集め、そこから世界に発進できるようにしたいと提案した」と語り、青年部がその活動の主役になるよう促しました。

また、公務多忙の合間をぬって清原慶子三鷹市長も交歓会に駆けつけ、「各地域の青年部はそれぞれの地域にとってかけがえの無い存在。今年も思い切り活躍下さい」と挨拶しました。

▶青年部連合会の賀詞交歓会
(挨拶する矢部会長)



わが社の

新製品・新事業への挑戦で
さらなる飛躍を!

経営革新計画

PART 2
Vol.2

ALL HOME PAGE(オールホームページ)株式会社

「書」をデジタル化し、デザインデータとして海外へ販売

「好きな仕事で社会に役立ちたい」という思いは会社勤めのころから強く、子育てが一段落した2007年の夏、ホームページ(HP)の制作会社ALL HOME PAGE(オールホームページ)株式会社を西東京市に立ち上げました。会社にした時に、プログラミング言語(C言語)の基礎を学んでいたことやデザインが好きだったこともあって、ウェブの世界にも抵抗なく入れました。セキュリティが高く、検索に強い構造のウェブサイトを、1社1社すべてゼロからプログラミングする手法を用い、オリジナルデザインで構築してきました。通常、この手法を使うと高くつくのですが、お客様のために安価で提供しています。検索に強いという特徴は、私自身がグーグル検索広告上級資格をもち検索の専門知識があるからです。最近ではお客様からも評価され、経営は順調です。

創業以来メイン業務にしたいと考えてきたのが、利益率の高いダウンロード販売サイト

の運営です。幼い頃より親しんだ「書」を起点として日本の文化・伝統精神をデジタル化し、海外に発信しようと考えました。そこで、西東京商工会さんに相談したところ、経営革新計画を勧められ、無料で中小企業診断士さんの指導を受ける機会に恵まれました。結局、商工会さんには書類の作成から申請までバックアップしていただきました。2014年7月に経営革新計画の申請を行い、運よく承認されました。採算性は不透明でしたが、まずやってみよう。売上のベースであるHP制作で得たお金をシステム構築資金に回して準備しました。

この事業は外国(主に米国)がターゲットです。事業に賛同いただいた書家さんの「書」をデジタル化し、ダウンロードデータとして販売します。しかし、ウェブサイトのオープンは当初計画より遅れてしまいました。資金的要因もありましたが、海外への利用許諾約款を作成する際の法律面のクリアが難題でした。

しかし、商工会さんに紹介されて東京都中小企業振興公社の「知財センター」で、無料で法律文書作成の相談ができました。このサポートは知識面でも費用面でも本当にありがたいものでした。今後は、コンテンツの量を増やすなどサイトを拡充し、利益の出せるウェブサイトにへと育てたいと考えています。

(東京都西東京市田無町5-3-4401)

AHPサイトQRコード(左)
ダウンロードサイトQRコード(右)

Words Category

Booms (0) Names (1)
Land mark (1) History (0)
Culture (1) Very Japanese (2)
Idioms (2) alphabet (0)

Page Menu

Articles List
Member Registration
Terms and Agreements
How to use About Us Support

LOGIN or REGISTER

Japanese Brush Painting,
Calligraphy Words Shop.
Commercial Use OK!

HERE Japanese Culture Spirits and Histories are introduced
through traditional or unique Japanese words.

大和撫子

All Home Page
株式会社
ウェブサイト

ダウンロード
販売サイト
Japan Download



代表取締役社長
藤 まなみ 氏

中小企業のサイバーセキュリティ対策強化に向け 相互協力協定を結ぶ

セキュリティ意識高め、オール東京で「安全・安心な首都東京」実現へ

東京都・警視庁と都商工連など中小企業支援機関5団体

東京都と警視庁、および東京商工会議所、東京都商工会連合会（都商工連）など中小企業支援機関5団体は1月14日、都庁で、中小企業のサイバーセキュリティ対策強化を支援するための相互協力協定を結びました。都商工連からは村越政雄会長が出席し協定書に署名しました。協定は、サイバー犯罪が増加する中、中小企業においてもセキュリティ意識を高め、情報共有やサイバー犯罪発生時などで相互に連携し、オール東京で「安心・安全な首都東京」の実現を目指すものです。

協定による連携事項として挙げられたのは、①中小企業のサイバーセキュリティ意識の啓発活動 ②サイバーセキュリティに関する情報共有の枠組みの構築 ③サイバーセキュリティに関する相談体制の構築 ④サイバーセキュリティ事案発生時の相互連携、です。事業の円滑な推進を図るため連絡会を設置します。

締結式後、イベント「サイバーセキュリティ 東京スクラム2016」が開催され、高橋清孝警視総監が「中小企

業もターゲットになり得る」と警鐘を鳴らしました。また、セキュリティソフト大手のアナリストがサイバー空間の脅威の現状を解説するとともに、中小企業に必要な対策や組織的対応などについての講演を行いました。舩添要一東京都知事は、「顧客情報や知的財産など企業秘密が流出すれば大きな損失につながる。中小企業の皆様にも、今からセキュリティ対策に取り組んでいただきたい」と語りました。



相互協力協定の締結式（左から2人目が村越都商工連会長）

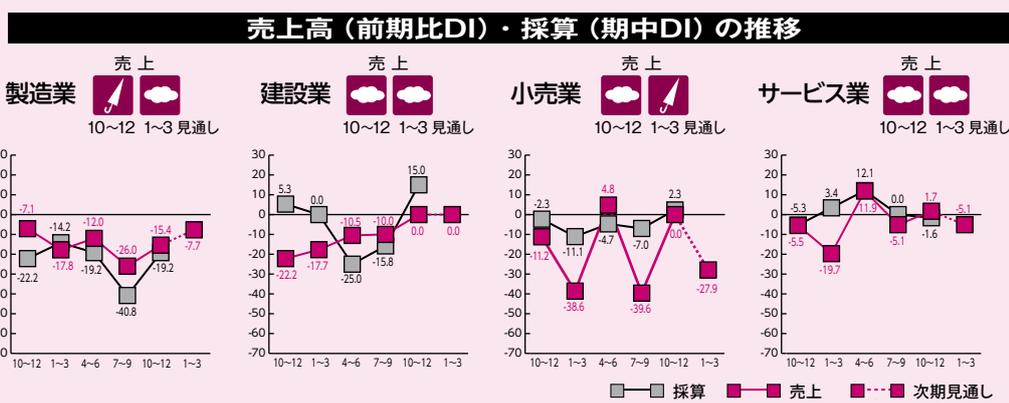
多摩地域商工会エリアの景況

27年度 第3・四半期 10~12月

中小企業景況調査

全業種で売上高前期比DIが上昇
建設、小売の採算期中DIはプラス圏に

- 製造業** 売上高前期比DIと採算期中DIが改善。資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は3期連続「需要の停滞」。
- 小売業** 売上高前期比DI、資金繰りDIが改善し、採算期中DIはプラス転換。経営上の問題点の第1位は3期連続「大・中型店との競争激化」。
- 建設業** 売上高前期比DIが4期連続改善。採算期中DIは大きく上昇してプラスに。資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は3期連続「需要の停滞」。
- サービス業** 売上高前期比DIが良化。採算期中DIと資金繰りDIはわずかに悪化。経営上の問題点の第1位は「利用者ニーズの変化」と「店舗の老朽化」から「仕入単価の上昇」に変わる。



調査企業の声

- * 受注は安定している。1月から2月に多少落ち込みがある可能性があるが、その後また上昇すると思われる。（食品機械・同装置製造業）
- * 同業の職人が少なくなり市外の現場が多くなった。仕事の増加で下請業者の確保ができるかが不安。（床工事業）
- * 高額品購入のお客様が増えた。（呉服・服地小売業）
- * 今期少し好転したのは商品券の影響だと思う。（中華料理店）

注1. DI値（景気動向指数）のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
 注2. DIマーク ☀️: +30 ~ ☁️: +10 ~ +30 ☁️: +10 ~ -10 ☁️: -10 ~ -30 ☁️: -30 ~
 注3. サンプルは多摩地域 150 企業原数値採用。
 注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

私と
商工会

| vol.13 |

支援情報の入手は
身近な商工会がベスト
粘り強いサポートで効果的な
資金計画や販売促進が可能に

株式会社 東京乳母車
社長 横田 建文氏



税理士さんに勧められて調布市商工会に入会したのは20年前のこと。会社設立後、そんな経っていません。以降、商工会さんにはお世話になりっぱなしです。小規模事業者に対する国や東京都、調布市などの支援情報を入手するには、私たちにとって敷居が低く身近な商工会さんがベストですから。

当社が販売している「乳母車」はバスケット式ベビーカーで、4輪の台車に籐のカゴを載せたタイプです。軽量化や操縦性を高めるためにネジ1本にいたるまで自社設計するため、開発コストが高くなります。また、製品の良さを知ってもらうための販売促進費（主に広告費）もかかります。そこで補助金や助成金を申請することを考えるのですが、通常業務の中で膨大な書類を作り上げるのは難しいことです。

こんな時に、商工会さんが粘り強くサポートしてくれました。おかげで、これまで、小規模事業者経営改善資金（マル経）、小規模事業持続化補助金、調布市ものづくり製品化事業などに採択されました。また、経営革新計画を申請し承認されたのも商工会の日頃のご指導によるところが大きいと思います。エキスパートバンクも利用させていただき、専門家のご意見を聴く機会にも恵まれました。

当社の乳母車は、大量生産の折りたたみ式ベビーカー全盛の時代に抗して、人間が主役の「潤いある育児ライフの実現」を目指した製品です。レーザーによる部品加工や、4輪独立懸架などハイスペックな機構の採用など、先進技術を駆使しています。価格は高めですが、先進技術とクラフトマンシップを融合させたレトロモダンなデザインは、ファッション紙「ELLE・JAPON」（2015）にも認められました。

これまでの日本の製造業は「安くて便利なもの」を目指してきました。しかし、便利さと快適さは似て非なるもので、安物は安物なりの満足感が得られません。また過剰な便利さを追うとデザイン性が劣る製品になりがちです。日本の消費者は大量生産の安物に飽きています。使ってみて、おしやれで快適であるかどうかという「アメニティ力」が製品の命となります。ものづくり中小企業は、そこを目指すべきと考えています。

| 会社プロフィール |

積極的な販促活動で、乳母車の良さをアピール

手編みの籐のカゴを載せた乳母車と横田社長が出会ったのは、長男が生まれた30年前。3番目の子（次男）が生まれたときに「記念に特製の乳母車を作ってみようか」と思ったのが、会社を作ったそもそものきっかけという。4年間の開発期間を経て1994年に「東京乳母車」を設立した。最初、フランス語で子守歌を意味する社名にしようとしたが、登記直前に「これでは何をやっている会社か分からない」と思い直し、あえてストレートな社名に。ただ、「老舗の三代目ですか?」、「今どき“乳母車”なんて…」と、評判は散々だったらしい。

乳母車の一番の良さは、カゴが大きいため赤ちゃんが自由な姿勢で伸び伸び過ごせること。カゴはしっかり編んでいるので衝撃にも強く安全性も高い。ただ、乳母車という名前には「古くて、重くて、使いづらい」というイメージが付きまとい、それを払拭するのに苦労した。

その後、さまざまな展示会の出展や、育児雑誌への広告、ホームページ作成などで販促を行い、デザイン性向上にも力を注いだ。その結果、「東京発明展・奨励賞」（96年）、「東京都中小企業優良商品第1位選定」（96年）などを受賞、第1回ベンチャーフェア（97年）では、小淵恵三首相がブースを訪れて乳母車を購入、話題になった。最近では、「2011キッズデザイン賞（ソーシャルキッズプロダクツ部門）」を受賞している。

2015年3月、東京・乃木坂にショップを開いた。TV番組にも数回取り上げられるなど知名度も上がってきている。現在、海外向けの英文のホームページを作成中で、世界に“UBAGURUMA”を発信する準備を着々と進めている。

- 乃木坂店：東京都港区赤坂9-1-26
- TEL：03-6434-7941
- 本社：東京都調布市佐須町4-34-6
- TEL：0424-99-2071
- URL：http://www.babycar.co.jp

経営指導員
から
一言

横田 誠 調布市商工会 経営指導員
お客様目線で商品開発にまい進

さまざまな相談を通じ、横田社長の商品に対する思い入れを強く感じている。日々、お客様の目線で商品を改良し、販路開拓にも取り組む意欲的な姿勢に接していると、経営指導員としての立場を超えて1個人として応援したくなる。

これまで同社の商品改良や販路開拓に際し、補助金申請や事業計画の作成に携わってきたことが、他の多くの事業所支援に役立っている。今後も施策を有効に活用し、同社の売上目標の達成に向けて伴走型の支援を行っていきたい。

東京都最低賃金改正のお知らせ

東京都最低賃金（地域別最低賃金）は

平成27年10月1日から**時間額907円に改正**されました。

※都内で労働者を使用するすべての事業場及び同事業場で働くすべての労働者（都内の事業場に派遣中の労働者を含む）に適用されます。

詳細は

東京労働局労働基準部賃金課

TEL.03-3512-1614（直通）

又はワン・ストップ無料相談窓口「東京都最低賃金総合相談支援センター」

TEL.0120-311-615 までお問い合わせ下さい。



EVENT GUIDE 4月▶5月 多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
3月25日(金)~10日(日)	はむら花と水のまつり2016 (前期:さくらまつり/羽村市)	羽村堰周辺ほか	桜のライトアップ、足湯、大道芸などのイベント。玉川上水に沿って模擬店が出店	羽村市観光協会 042-555-9667
3月26日(土)~3日(日)	第33回 ふっさ桜まつり(福生市)	明神下公園	多摩川沿いの500本の桜をライトアップ。ジャズ演奏、鼓笛隊・民謡パレード、アメリカンレイン運行、模擬店など	ふっさ桜まつり実行委員会 (福生市シティセールス推進課) 042-551-1740
2日(土)	日の出桜まつり(日の出町)	塩田グラウンド	ステージショー、フリーマーケット、流し踊り	日の出町観光協会 042-588-5883
2日(土)~3日(日)	第62回 小金井桜まつり (小金井市)	都立小金井公園	園内では50種約1700本の桜が咲き乱れる。会場両側のソメイヨシノは圧巻。郷土芸能、和洋舞踊、生け花、茶席など多彩な催し物が行われる。模擬店も多数出店	小金井市観光協会 042-316-3980
2日(土)~3日(日)	第39回 くにたちさくらフェスティバル(国立市)	谷保第三公園(富士見台2丁目のさくら通り沿い)	舞台、模擬店、屋台、催し物など。お花見をしながら1日中遊べるイベント	実行委員会(国立市役所産業振興課) 042-576-2111(内線345)
2日(土)~3日(日)	第1回 桜まつり ぶら〜りウォーキング in 武蔵村山 (武蔵村山市)	横田児童遊園、野山北公園自転車道の一部区間	さくら回廊のライトアップ、桜 JAZZ ナイト、ミニ SL 運行など	武蔵村山市桜まつり実行委員会事務局 042-560-0011
2日(土)~3日(日)	第6回 稲城市桜・梨の花まつり (稲城市)	稲城市役所駐車場ほか	ボンボリの点灯、模擬店、お茶会、大道芸、ミニ SL、ハシゴ車体験乗車、ご当地キャライベント、義援金募集など	稲城市商工会 042-377-1696
4月 3日(日)	春うらら 国立・立川 さくらウォーキング (国立市・立川市)	<国立出発コース>大学通り(一橋大正門)~さくら通り~郷土館~根川緑道~立川の一か所 <立川出発コース>立川公園~根川緑道~郷土館~桜並木~さくら通り~大学通り	国立・立川市内の桜を愛でながら、ウォークと郷土館めぐり。途中、国立で健康チェックや名産品試食のおもてなし。ゴールで、くにチャンクスの抽選会。終了後、桜フェスティバル、桜ライブを楽しむ	NPO 法人国立市観光まちづくり協会 042-574-1199 立川観光協会 042-527-2700
3日(日)	第37回 さくらまつり(瑞穂町)	六道山公園	狭山丘陵ウォーキング、野点、お囃子、子供の集い、大道芸など	瑞穂町観光協会 042-557-3389
8日(金)~24日(日)	はむら花と水のまつり2016 (後期:チューリップまつり/羽村市)	根がらみ前水田(羽中4丁目、羽加美4丁目)周辺	約40万本のチューリップが咲き誇る関東でも指折りのチューリップどころ。会場には展望台を設置。模擬店の出店や写真コンクールも行う。	羽村市観光協会 042-555-9667
4月上旬	神津エビネ展(神津島村)	生きがい健康センター	エビネランの開花に合わせて、匂いエビネや地エビネなど神津島のエビネをPRする。	神津島村役場産業観光課 04992-8-0011
15日(金)~	長浜まつり(神津島村)	阿波命神社	村民の憩いの場である長浜で、阿波命神社に家内安全や大漁を祈願した後、家族や友人と浜でバーベキューなどを楽しむ	神津島村神社奉賛会 04992-8-0193
23日(土)~24日(日)	第5回 東大和市グルメコンテスト "うまかんべえ~祭"(東大和市)	都立東大和南公園平和広場(桜が丘2丁目)	地域住民の交流と、東大和市の魅力ある食文化を活かして、地域社会を元気にする祭。"これぞ東大和"と呼ぶにふさわしいご当地グルメを市民総出で創り出す	東大和市グルメコンテスト実行委員会/東大和市産業振興課商工観光係 042-563-2111
23日(土)~24日(日)	小金井公園子どもフェスタ2016 (小金井市)	都立小金井公園	ミニ SL 運行、ミニ動物園、子ども演芸会、凧あげ教室、竹馬体験、模擬店など	小金井公園子どもフェスタ2016 実行委員会 042-385-5611
23日(土)~24日(日)	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン・プレフェス・ア・コマエ(狛江市)	エコルマホール・狛江駅前周辺	ラ・フォル・ジュルネ「熱狂の日」音楽祭東京公演(東京国際オーラムで開催)の前夜祭	LFJ 狛江プレ実行委員会 03-3430-1111
30日(土)~5月1日(日)	第21回 ウォーキングフェスタ東京 ツーデーマーチ(小金井市)	都立小金井公園	初心者からベテランまで、出会いとふれ合いを求めて楽しく歩く全国有数のウォーキング大会	日本ウォーキング協会 03-5256-7855
7日(土)~8日(日)	第19回 ひの新選組まつり (日野市)	7日 高幡不動周辺 8日 JR 日野駅前甲州街道周辺	7日 新選組隊士慰霊祭、コンテストなど 8日 新選組隊士パレード、刀道演武など	日野市産業振興課 042-585-1111
8日(日)	第7回 残堀川ふれあいイベント&ふれあいウォーキング(瑞穂町)	狭山池公園および瑞穂武道館	ステージでのイベント、ミニ SL、ポニー乗馬、ふわふわ、町内各種団体の模擬店など	瑞穂町役場産業課 042-557-7633
21日(土)	第25回 新島トライアスロン大会 (新島村)	新島地内	新島を舞台にした、スイム・バイク・ランの鉄人レース	新島村役場産業観光課 04992-5-0284
21日(土)~22日(日)	第47回 ジュリア祭(神津島村)	生きがい健康センター、神津高校体育館、まっちゃんれセンター広場	三位一体の主日ミサ、芸能交流会、ジュリアを偲ぶ夕食会、歓迎餅つき会	神津島村役場産業観光課 観光工係 04992-8-0011
28日(土)~29日(日)	第2回 西東京商工まつり(西東京市)	文理台公園	市内商工業者の生産品や特産品の展示・販売、ステージショーなど	西東京商工会 042-461-4573

東京ドームで開催

地域の食を味わう 「ふるさと祭り東京」

島寿司やくさやを販売 伊豆・小笠原諸島の6商工会がリレー方式で出店

日本全国の郷土色豊かなお祭を楽しみ、地域ならではの食を味わってもらうという、「ふるさと祭り東京」が1月8日から17日まで東京ドームで開かれました。

昨年に引き続き、伊豆・小笠原諸島の6商工会(大島町・三宅村・新島村・八丈町・神津島村・小笠原村)がリレー方式で出店し、訪れた来場者(約42万人)に各島の魅力をPRしました。

出店日には各商工会から職員が駆けつけ、東京都商工会連合会の職員、事業者と力を合わせ、島しょ名物の島寿司などの島ならではのグルメや、くさやなどの特産品の販売に力を入れました。

また、今回も府中観光協会、大多摩観光連盟と連携し、各島の焼酎、リキュールなど地元の自慢の酒を用意し、島ならではの味をその場で楽しんでいただきました。



▲にぎわう伊豆・小笠原諸島のブース



再生紙を使用しています。

